



●日本語は、漢字、平仮名、片仮名、アルファベットの4種類の文字群で表記されます。その中で平仮名と片仮名を合わせた仮名の使用率は、約6割から7割を占めます。ということは、文字組版において仮名のデザインを変えることで、組版のイメージを変えることができます。

●今回は、近年、私が制作に関わった七つの明朝体用の仮名書体(文麗かな、蒼穹かな、垂水かな、勇壮かな、水面かな、古雅かな、朝霧かな)について、与えられた課題に、どのようなコンセプトを立て、どのようにデザインに反映させたのか、その制作過程をお話ししたいと思います。

講師 鳥海修 氏 (書体デザイナー)

七つの仮名書体

特別講演会 二〇二三年二月五日(日)午後二時～三時三〇分

【概要】
特別講演会では年に一度、博物館の開館日(1月31日)を記念して、各界の専門家にご登壇いただいております。今年度は書体設計士の鳥海修氏をお迎えします。

【講師プロフィール】
鳥海修(とりのうみおさむ)。1955年山形県生まれ。書体設計士。多摩美術大学卒業後、1979年株式会社写真研入社。1989年に有限会社字工房を鈴木勉、片田啓一の3名で設立。1998～2019年まで同社代表取締役。株式会社SCREENグラフィックソリューションズのヒラギノシリーズ、こぼりなゴシックなどを委託制作。一方、自社ブランドとして游書体ライブラリーの游明朝体、游ゴシック体など、ベーシック書体を中心に100以上の開発に携わる。2007～2017年まで京都精華大学で書体設計に関する教育や指導に当たる。現在、私塾「文字塾」塾長。

【開催情報】
参加費: ¥1,000 会場: 当館講堂
定員: 170名(定員を超えた場合は抽選)
申込: Web申込/往復はがき
申込期間: 12月10日(土)～1月18日(水)

【申込方法】
(Web)
横浜市歴史博物館HPイベント申し込みページ「企画展・特別展関連イベント」から申し込み画面にお進みください。
*一部の携帯電話・スマートフォン・タブレットには対応していない場合があります。
*締切日の17:00まで
(往復はがき)
①講演会名②郵便番号・住所・氏名(ふりがな)③ご連絡の取れる電話番号を明記のうえ、当館特別講演会係までお送りください。
*往復はがき1枚につき1名様まで
*締切日必着

●本講演会はアーカイブ配信を予定しております。詳細が決まり次第当館HP等でお知らせいたします。

*水面かな、古雅かな、朝霧かなの3書体の字形は試作のため、製品版と異なる可能性があります。

企画展「活字●近代日本を支えた小さな巨人たち」2022年12月10日(土)～2023年2月26日(日)開催!

横浜市歴史博物館 YOKOHAMA HISTORY MUSEUM

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1
TEL. 045-912-7777
<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>



横浜市営地下鉄「センター北駅」下車 ①番出口徒歩5分 駐車場あり(30分100円)

横浜市歴史博物館は(公財)横浜市ふるさと歴史財団が指定管理者として管理・運営しています。



*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント内容が変更になる場合があります。最新の情報は横浜市歴史博物館Webサイトまたはお電話にてご確認ください。

游明朝体E+垂水かな(ルビ)游築36が仮名